

令和2年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	要 旨	答弁者
6	16	遠 藤 英 明 議 員	1 / 1	
発 言 項 目		要 旨		答 弁 者
1	統一的な基準による 地方公会計、富士宮市 財務書類分析について	(1) 財務諸表4表による指標分析について。 ① 貸借対照表に係る指標分析について。 ア 市民1人当たりの資産・負債は適正な価額を維持しているか。 イ 有形固定資産減価償却費率は類似団体と比較していかがか。 ウ 将来世代負担比率は現世代に比べ過負担となっていないか。 ② 行政コスト計算書に係る指標分析について。 ア 行政目的別行政コストは適正額か。 イ 行政コスト対財源比率はどうか。 ③ 純資産変動計算書に係る指標分析について。 ア 行政コスト対財源比率は適正価額か。 ④ 資金収支計算書に係る指標分析について。 「基礎的財産収支（プライマリーバランス）は近隣 ^ 都市と比較してどうか。 (2) 地方公会計改革として地方財政の「見える化」が求められているが富士宮市の取組について何う。 ① 貸借対照表における固定資産台帳を整備した上での公表について。 ② 行政コスト計算書における現金支出を伴わないコストの取組について。	市長 副市長 教育長 関係部長	
2	第1次富士宮市行政 経営プラン、令和元年 度実施報告書について	(1) 人材・組織マネジメントについて。 ① 職員数の適正化は図られたのか。社会保障における、扶助費の割合は増加の一途をたどっている。これに伴い、福祉、保健、教育、病院等の各分野で会計年度任用職員（臨時職員）の増大が見込まれる。正規職員との適正管理が求められるがいかがか。 (2) 財務マネジメントについて。 ① 自主財源の確保としてふじのみや寄附金（ふるさと納税）の令和元年度の実績と今後の戦略について何う。 ② 富士宮市立病院経営の最大のネックは人件費の高さだと思う、これを是正するための方策は何か。 (3) 公共施設等マネジメントについて。 ① 昭和49～50年代の右肩上がりの高度成長期に建設された多くの公共施設が今後一斉に更新時期を迎えることになり、現在有する公共施設の長寿命化を図ったとしても、維持するだけでも困難な時代となった。過去5年間の維持費用の平均額はいかがか。また、将来費用の年平均の維持費用をどのくらい見込むのか。 (4) 業務マネジメントについて。 ① 市民協働の推進。多くの住民が待望する富士根南交流センター建設について、土地買収等、進捗状況はいかがか。 ② 行政と自治会との連携強化。自治会の統廃合についてどのように考えるか。また、自治会を法人化するメリットは何か。	市長 副市長 教育長 関係部長	